

工場・研究所向けセキュリティシステム

芹沢一彦*
橋詰 聡**

Security System for Factory / Laboratory

Kazuhiko Serizawa, Akira Hashizume

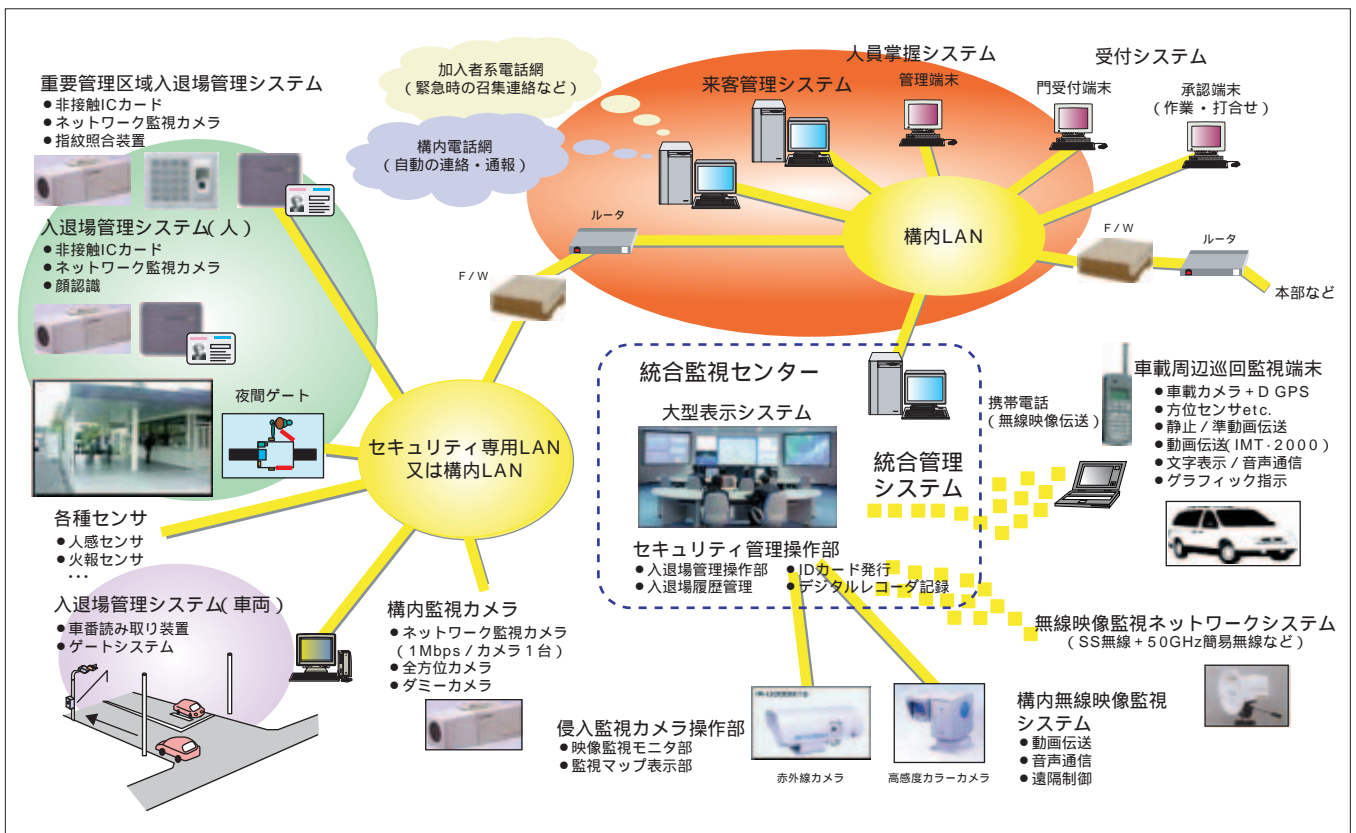
要 旨

昨今の社会情勢やIT化の推進により、工場・研究所施設内の情報・資産の価値は、それを保有する企業・社会にとり、非常に重要になっている。それらを守る手段として、セキュリティシステムは重要な位置付けとなる。各企業が設備投資を抑制していたにもかかわらず、新築・既設を問わずセキュリティシステムの需要は拡大傾向にある。近年のセキュリティに対する認識の変革、企業内犯罪の防止策の推進などに対応する、工場・研究所向けセキュリティシステムについて述べる。

工場・研究所施設はセキュリティシステムが不可欠となる施設であり、従来から導入されている。しかし、各棟・各部署・各システム(映像監視・入退場管理など)ごとの導入となっており、施設全体での取り組みではなかった。一

方で、個人情報保護の機運が高まり、企業の危機管理・セキュリティポリシーの策定など、セキュリティシステムは企業自身が構築しなければならない重要なアイテムとなっている。三菱電機は、総合電機メーカーとして自社工場・研究所へのセキュリティシステムの適用、また、お客様へのセキュリティシステム構築を展開することにより、セキュリティシステムベンダーとして、今後一層注力していく。

本稿では、工場・研究所のセキュリティを統合的に管理する“統合セキュリティシステム”について述べる。このシステムにより施設全体をとりまとめ、それを核として入退場管理・映像監視・車両管理を融合し、“人・車両・施設・情報”を統合管理し今後のシステムに適用していく。



工場・研究所向けの統合セキュリティシステム構成例

工場において、万一発生してしまった災害や事故の状況を収集し対策を講じるには、集めた情報から総合的に、かつ迅速に判断と指示を下す必要がある。当社の提案する工場・研究所向けセキュリティシステムは、“人・車両・施設・情報”等の一元的な管理と顧客のニーズ、運用に応じたシステム拡張に主眼を置いてIT化を図った統合セキュリティシステムである。